事業用自動車事故調査報告書概要 ~大型トラックの追突事故(静岡県浜松市)~

事故概要

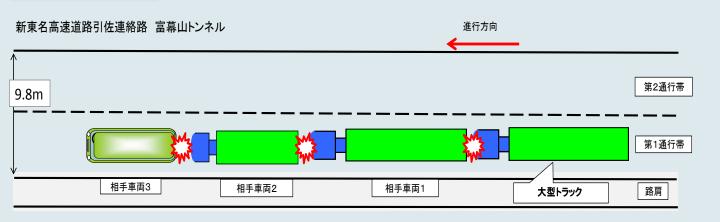
平成26年10月22日、静岡 県浜松市の新東名高速道路引佐連 絡路富幕山トンネル内において、 大型トラックが渋滞で停止してい た別の大型トラックに追突し、合 計4台の車両が関係する多重追突 事故が発生した。



追突した大型トラック(左)と 相手車両1

この事故により、追突した大型トラックの運転者が重傷を負い、追突された大型トラック及び タンク車の運転者が軽傷を負った。

事故状況図



原因

大型トラックの運転者が脇見運転したことにより、渋滞のため停止していた別の大型トラック に気付くのが遅れたことに加え、制限速度を超える91km/hで走行していたことが重なったため、 ブレーキによる制動が間に合わず、追突したと考えられる。当該事業者において、運転者の適性 診断結果として指摘されていた運転特性に対する指導が不十分であったことなど、運転者の安全 運転に関する意識の徹底が図れなかったことが事故につながった可能性が考えられる。

再発防止策

- ★ 事業者は、運転者の勤務状況を把握し、拘束時間の限度を超過しないよう乗務管理を行う。
- ★ 事業者は、運転者に対して点呼を確実に実施するとともに、高速道路の集中工事による渋滞 が予測される場合には、電光掲示板等の交通情報に注意して運転するよう指示する。
- ★ 事業者は、運転者の適性診断結果の指摘事項を日常的に自覚させ、改善するよう指導する。